



ヨーバル®
パワーEV
箱粒剤

フルスペックパワーで、
水田の平和を守る！



いもち病、紋枯病も！ ウンカ、初期害虫、チョウ目害虫も！
問題になる病害虫をひろくカバー！

- いもち病に有効なルーチン® (イソチアニル)
- 紋枯病に有効なエバーゴル® (ペンフルフェン)
- 抵抗性ウンカ類にも有効なPX POWER® (ピメトロジン)
- 初期害虫・チョウ目害虫に有効な
ヨーバル® (テトラニリプロール)

® ヨーバル、ルーチン、エバーゴルはバイエルグループの登録商標
PX POWER® はシンジエンタ社の登録商標



いもち病



紋枯病



ウンカ類 (トビイロウンカ)



イネミスゾウムシ



ニカメイチュウ

ヨーバル®パワーEV 箱粒剤

1 水稻の主要病害虫に優れた効果

●いもち病防除の定番「ルーチン®」(有効成分：イソチアニル)、紋枯病防除剤「エバーゴル®」(有効成分：ペンフルフェン)、新規ジアミド系殺虫剤「ヨーバル®」(有効成分：テトラニプロロール)、ウンカ類へ効果の高いピメトロジンの4有効成分からなる水稻育苗箱専用剤です。

●水稻の主要病害虫であるいもち病、紋枯病、白葉枯病、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、ウンカ類、チョウ目害虫のニカメイチュウ、コブノメイガ、フタオビコヤガに優れた効果を発揮します。

2 優れた浸透移行性と長い残効

イソチアニル、ペンフルフェン、テトラニプロロール、ピメトロジンはいずれも浸透移行性に優れ、長い残効性を有します。

3 は種時から移植当日まで使用可能

は種時覆土前から移植当日までの幅広い時期で処理が可能です。

適用病害虫および使用方法

(2021年1月現在)

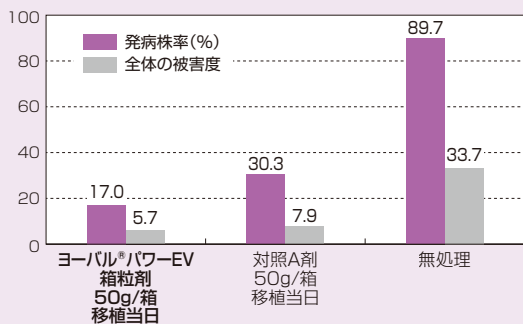
作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	使用回数*	使用方法
稲 (箱育苗)	いもち病 紋枯病 白葉枯病 イネドロオイムシ イネミズゾウムシ ニカメイチュウ コブノメイガ イネツトムシ フタオビコヤガ ツマグロヨコバイ ウンカ類	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	は種時(覆土前) ～移植当日	本剤：1回 テトラニプロロール：1回 ピメトロジンは3回 (移植時までの処理は1回、 本田では2回) イソチアニル：3回 (移植時までの処理は1回、 本田では2回) ペンフルフェン：1回	育苗箱の上から 均一に散布する。
	内穎褐変病 もみ枯細菌病		移植3日前～移植当日		

*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

試験成績

紋枯病に対する効果

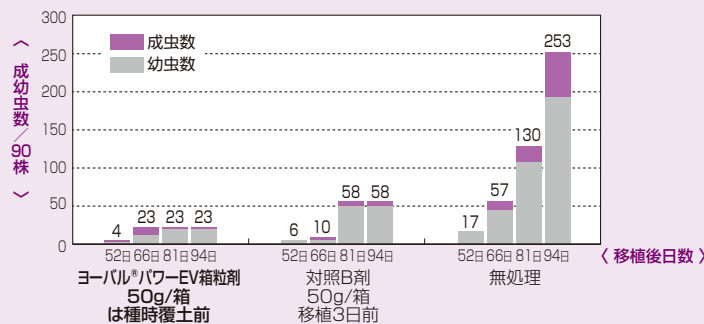
2019年 山口県農林総合技術センター



●品種：日本晴 ●発生状況：中発生(接種) ●は種：5月14日
●移植：6月6日 ●接種：7月24日 ●出穂：8月16日 ●調査：9月13日

トビウナカに対する効果

2019年 (一社)日本植物防疫協会 宮崎試験場



●品種：ヒノヒカリ ●発生状況：少発生 ●は種：6月9日 ●移植：6月28日 ●出穂：8月23日頃
●調査：8月19日(移植52日後)、9月2日(移植66日後)、9月17日(移植81日後)、9月30日(移植94日後)
払落し法による調査

注意事項

効果・薬害等の注意

- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがあるので注意して下さい。
- 本剤処理後に急激な乾燥が起こりやすい場所や温度変化が大きい場所で育苗した場合は、薬害が生じるおそれがあるので、注意して下さい。
- 本剤処理後の極端な低温または高温条件下で薬害を生じるおそれがあるので温度管理に注意し、適切な育苗につとめて下さい。
- 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じやすいので、代かきは丁寧に行い、移植後田面が露出しないように注意して下さい。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないで下さい。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しないで

下さい。

- さく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布して下さい。また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさせて下さい。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

安全使用上の注意

- 誤食などのないよう注意して下さい。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の指導を受けて下さい。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して下さい。作業後は直ちに手足、

顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換して下さい。

- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意して下さい。
- 水産動物(魚類)に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないで下さい。
- 移植後は河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意して下さい。
- 水産動物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意して下さい。
- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 <https://cropscience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎0120-575-078 9:00~12:00,13:00~17:00
土日祝日および会社休日を除く

(F-2139 21.01.jeki)